

TRIM REPORT

株主通信

第41期 第2四半期決算報告

2022年4月1日～2022年9月30日

株主の皆様へ

グローバルなメディカルカンパニーへの挑戦

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

この度、当社は、株主価値の持続的向上を目指すため、資本政策の基本方針を改訂いたしました。「資本効率性」「株主還元」「財務健全性」をバランス良く実現し、企業価値を高めてまいります。当方針に則り、2023年3月期配当予想を、1株当たり60円から20円増配して80円とし、また、当第2四半期の業績が計画に沿って推移したこともあり、今年度40周年を迎えたことを記念して1株当たり40円の記念配当を実施することと



いたしました。合わせまして120円の配当を実施する予定です。

当社では、中長期的な企業価値向上を目指し、以下の3点を重点的に取り組んでまいります。

1. 主事業である整水器販売事業の直接販売部門の効率化を伴う量的拡大
2. 整水器販売事業の卸・OEM部門における海外展開の拡大
3. 世界に先駆けた電解水透析の普及と、保険適用も視野に入れた研究開発等の活動

また、グループ事業では、インドネシアのボトルドウォーター事業は、マーケティングの強化、展開地域の拡大、生産体制の強化に取り組み、成長を加速させてまいります。再生医療分野の細胞バンク事業におきましては、新規保管率99.9%のシェアを持つさい帯血バンク事業をベースに、新たな細胞ソースを利用した事業やフェムテック事業などの開発にも取り組み、飛躍的な成長を実現してまいります。

当社グループは、健康・医療をメインテーマに、これら事業を通して社会課題解決に取り組み、サステナブルな社会の実現に貢献するとともに、持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

株式会社日本トリム 代表取締役会長兼CEO

森澤 紳勝

新資本政策の基本方針

01

資本効率性の向上

目標指標:ROE 10%以上

02

株主還元の強化

基準:DOE 3%

03

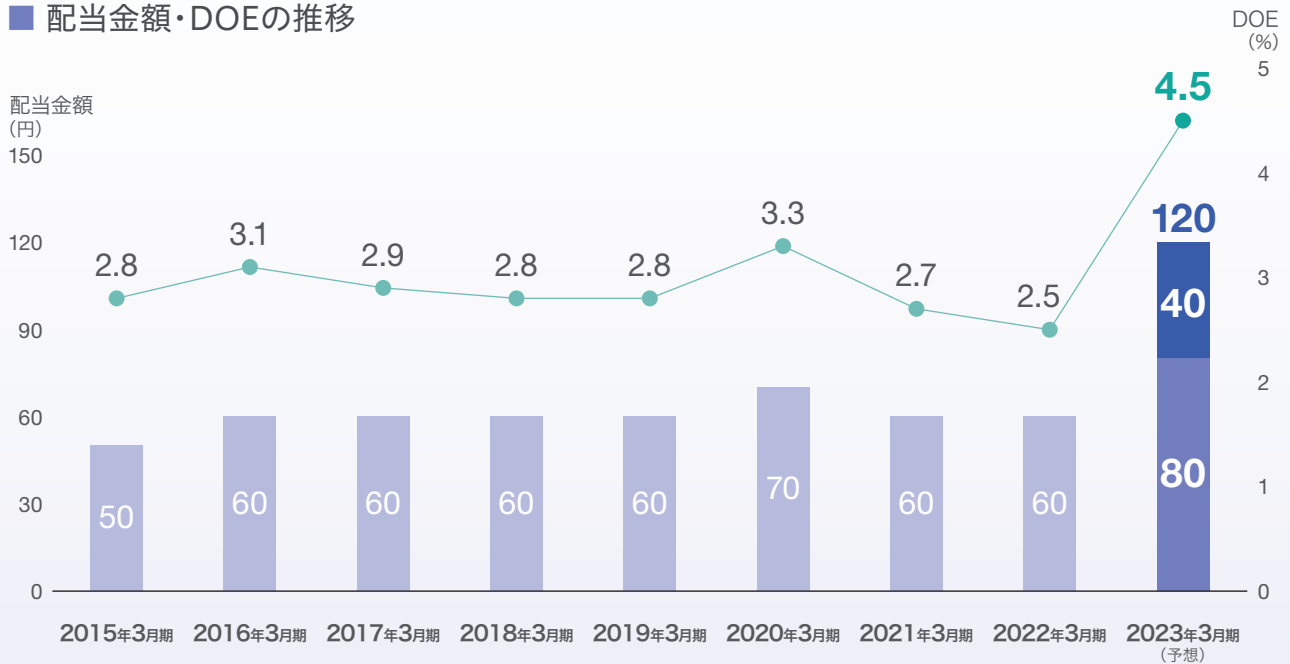
財務健全性の維持

※ ROE(自己資本利益率) ※ DOE(株主資本配当率) = ROE × 配当性向

2023年3月期 期末配当予想を増配し、120円

(増配20円 + 40周年記念配当40円)

■ 配当金額・DOEの推移



財務ハイライト: 前期比較

■ 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	第40期第2四半期 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)	第41期第2四半期 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)
売上高	8,411	9,081
営業利益	1,213	1,220
経常利益	1,253	1,294
税金等調整前 四半期純利益	1,253	1,324
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,455	847

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

		第40期 (2022年3月31日)	第41期第2四半期 (2022年9月30日)
資産の部	流動資産	18,160	19,016
	固定資産	8,430	8,512
	資産合計	26,590	27,529
負債の部	流動負債	4,896	5,199
	固定負債	891	974
	負債合計	5,788	6,174
純資産の部	純資産	20,802	21,354
負債・純資産合計		26,590	27,529
自己資本比率 (%)		74.5	73.7



ウォーターヘルスケア事業

WATER HEALTH CARE



整水器販売

2027年3月期 整水器売上高200億円を目指す

1. 整水器売上高200億円達成のため、以下の施策に注力いたします。
 - ▶ 2023年6月に、職域販売部門で5,000台/月・取付紹介販売部門で1,700台/月を実現できる体制構築に向けた人員増強、営業力強化
 - ▶ 人材紹介会社等を活用した職域セミナーを安定的に大量に取得するための取り組み
 - ▶ 卸・OEM部門の拡大(海外含む)
2. 部材調達コストの増加が今後も継続する見通しであることから、整水器は2023年3月から、浄水カートリッジその他部品等は同年4月から値上げを予定しております。



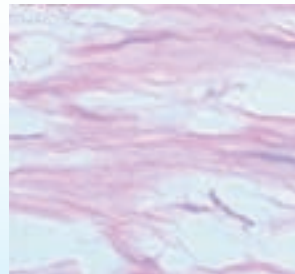
研究開発

炎症性腸疾患の疼痛緩和による患者のQOL改善への期待

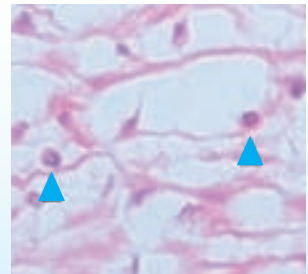
2022年10月、理化学研究所との共同論文が科学誌「Nutrients」に掲載されました。モデルラットへの電解水素水の日常的飲用により、炎症性腸疾患の疼痛緩和に効果が確認されました。炎症性腸疾患は腸の炎症が原因で、下痢、血便、腹痛、倦怠感などの症状を繰り返す病気で、その代表的疾患である難病指定の「潰瘍性大腸炎」の患者数は140,574人、「クローン病」は47,633人です。^(※)患者の方々へのQOL(生活の質)改善が期待されることから、今後、ヒト試験も検討してまいります。

※ 厚生労働省「令和2年度 衛生行政報告例」

電解水素水飲用群
炎症細胞見当たらず



水道水飲用群
炎症細胞が確認された



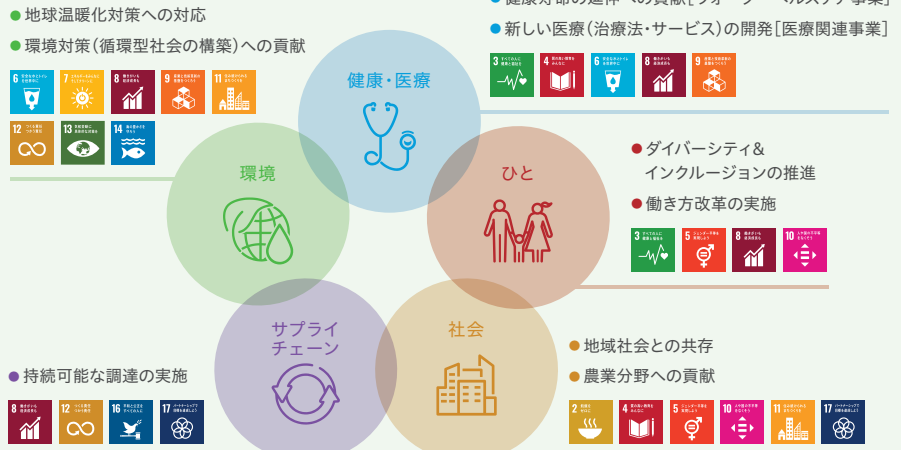
疼痛発生から8日目の腸組織像

日本トリムグループのサステナビリティ


企業理念

快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する

日本トリムグループは、事業を通じた社会課題の解決による持続的な社会発展への貢献、また、中長期的な企業価値向上を実現するため、企業理念、経営方針、ステークホルダーから見た重要度を認識したうえで、当社グループで共通に取り組むマテリアリティ(重要課題)を特定しております。





 **電解水透析**

透析患者のWell-being実現への貢献

2022年7月、「Renal Replacement Therapy」に、聖路加国際病院等と、電解水透析による透析患者の重度疲労感低減に関する共同論文を発表いたしました。疲労感の抑制は、透析患者の家庭復帰や社会復帰に繋がり、QOL改善によるWell-being実現は、社会的、経済的にも大変大きな意義があります。現在、電解水透析は、29施設(929床)に導入されており、約2,700名の方々が電解水透析治療を受けておられます。国内透析施設約4,500施設への普及拡大に向けて、引き続き注力してまいります。



 **再生医療分野**

ステムセル研究所が四半期売上高過去最高を更新

ステムセル研究所(東証グロース市場上場、証券コード:7096)では、デジタル・マーケティング活動の強化、昨年4月に開始した、日本初の「さい帯保管サービス」が着実に業績の向上に貢献しました。日本のさい帯血採取率は約0.9%であり、3~4年後に3%、中期的には10%まで採取率を上げることを目指しております。今後、「さい帯血」や「さい帯」以外の幹細胞のバンキング、またそれらを利用した新たなプロダクトやサービス、フェムテック事業などの新たな事業開発も積極的に推進してまいります。



会社情報

会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	株式会社日本トリム NIHON TRIM CO.,LTD.
本社	大阪市北区梅田二丁目2番22号 ハービスENTオフィスタワー22階
設立	1982年(昭和57年)6月12日
資本金	992,597千円
従業員	628名(関連会社含む)
主な事業内容	電解水素水整水器及びカートリッジ等の製品開発・販売

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	8,656,780株(自己株式991,619株を含む)
株主数	6,617名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ(https://www.nihon-trim.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は日本経済新聞に掲載する方法といたします。